

中部地方整備局事業評価監視委員会 (平成19年度第5回)
議 事 概 要

1. 日 時 平成20年2月27日 (水) 13:30～16:30

2. 場 所 KKRホテル名古屋 3階芙蓉の間

3. 出席者 員
○委 員
浅岡委員長、加藤副委員長、黒田委員、竹内委員、谷委員
中島委員、藤田委員、森川委員

○中部地方整備局
金井局長、富田副局长、上田副局长、企画部長、建設部長
河川部長、道路部長、港湾空港部長、営繕部長 他

4. 議事

- 1) 挨拶 中部地方整備局長
- 2) 平成19年度の審議等第4回委員会の議事概要の確認
- 3) 対川事業 (事後評価)
 - 河川事業 (事後評価) (河川災害復旧等関連緊急事業)
 - 来光川事業 (河川後評価)
 - 営繕事業 (事後評価)
- 4) 報告
 - 豊川流況総合改善事業
 - 徳山ダム建設事業
- 5) 配付資料一覧、委員名簿、配席図)
 - 道一般国道25号 名阪道路
 - 名古屋探知犬管理センター
 - 名古屋税関麻薬探知犬管理センター

5. 配布資料
 - 資料 1 委員会資料 (委員年度会議第4回事業概要の概要)
 - 資料 2 事後評価対象河川事業概要
 - 資料 3 事後評価対象河川事業概要 (河川災害復旧等関連緊急事業)
 - 資料 4 事後評価対象河川事業概要 (河川災害復旧等関連緊急事業)
 - 資料 5 事後評価対象河川事業概要 (河川災害復旧等関連緊急事業)
 - 資料 6 事後評価対象河川事業概要 (河川災害復旧等関連緊急事業)
 - 資料 7 事後評価対象河川事業概要 (河川災害復旧等関連緊急事業)
 - 資料 8 事後評価対象河川事業概要 (河川災害復旧等関連緊急事業)
 - 資料 9 事後評価対象河川事業概要 (河川災害復旧等関連緊急事業)
 - 資料 10 事後評価対象河川事業概要 (河川災害復旧等関連緊急事業)
 - 資料 11 事後評価対象河川事業概要 (河川災害復旧等関連緊急事業)
 - 資料 12 事後評価対象河川事業概要 (河川災害復旧等関連緊急事業)

6. 主な審議結果等
 (1) 河川事業 (事後評価)
 ○河川部より説明された河川事業1件の事後評価対応方針 (案) については、以下のとおりとする。

来光川 (河川災害復旧等関連緊急事業)・・・了承

(2) 営繕事業 (事後評価)
 ○営繕部より説明された営繕事業3件の事後評価対応方針 (案) については、以下のとおりとする。

刈谷地方合同庁舎・・・了承
 中部空港地方合同庁舎・・・了承
 名古屋税関麻薬探知犬管理センター・・・了承

項目	意見・質問	回答及び対応方針
<p>営繕事業 (全体)</p>	<p>営繕事業の優先順位はどのような基準で判断されているのか。</p>	<p>老朽化、狭険度合い等を指標化し総合的に判断して優先度を決定している。 意見を踏まえ今後検討し、明確にす</p>
(刈谷合庁)	<p>I C C O 2を1990年と比較し、その削減量を便益として計上しているのか。1990年と比較することが適切なものか。(1990年時点の何と何をどのよう比較して計上しているのか。)</p> <p>顧客満足度調査では駐車場不満足による不満が多く、駐車場を多く確保したのきはなぜか。 立地場所は中部地方整備局が決めるのか。</p>	<p>駅前など交通結節点に整備すること交通弱者なども立地して利用して来庁で</p> <p>地方財務局から提示された敷地にあって、国土交通省の基準に照らし合わせて判断を行い、地方財務局と協議の上、現有国有地の有効活用を第1に考えている。 局で合同庁舎化の計画を作り、関係省庁と協議し決定する。中作り、アソケータの結果があることを利用し法務局などに行き来が確</p>
(空港合庁)	<p>合同庁舎化は誰が決めるのか。</p>	<p>合同庁舎化の計画は職員、一般利用者など全て合同項目でアソケータしたもの。満足度、調査結果の表現・評価については今後も検討する。</p>
<p>(麻葉探知 犬管理セナ)</p>	<p>便益算定において、「合同化により多くの効果」の便益が大きく思うが省間をい</p> <p>顧客満足度調査の「総合満足度」の結果を比較して一般利用者が低いことについては納得できないか。セニアルに対して顧客満足度が高いことを重要視する。顧客満足が、窓口を重要職の上で満足していること、業務効率の向上である。顧客満足が、窓口を重要職の上で満足していること、業務効率の向上である。顧客満足が、窓口を重要職の上で満足していること、業務効率の向上である。</p> <p>刈谷合庁の便益計算と比較し、中部「空港合庁」の便益計算と比較し、民間「建設費」が非常に高くなっているのはなぜか。 合同庁舎等と麻葉探知犬管理セナの同一施設な金額となっているのか。</p>	<p>空港島内にある施設の賃貸料を用いた結果である。</p> <p>職員の施設と併せ、麻葉探知犬専用の訓練や管理するための整備が必要が</p>
<p>道路事業 (名阪道路)</p>	<p>交通安全の観点から見ると自動車専用道路であれば、一般道路の改良は必要か。多量な道路一般を線(路肩拡幅)として改良する必要はあるのか。</p>	<p>名阪道路は、路肩など幅員が狭く一旦事故が起ると全断面通行止めになる。産一基秒と正確に物流に必要と考えている。</p> <p>本事業は、4車線整備された道路の車線が足りない目的とする。14年当時は路肩部分を経営し、買収するため再評価を実施した。SSの交通安全対策を進めたい。</p>
<p>道路事業 (名阪道路)</p>	<p>交通安全の観点から見ると自動車専用道路であれば、一般道路の改良は必要か。多量な道路一般を線(路肩拡幅)として改良する必要はあるのか。</p>	<p>名阪道路は、路肩など幅員が狭く一旦事故が起ると全断面通行止めになる。産一基秒と正確に物流に必要と考えている。</p> <p>本事業は、4車線整備された道路の車線が足りない目的とする。14年当時は路肩部分を経営し、買収のため再評価を実施した。SSの交通安全対策を進めたい。</p>

項目	意見・質問	回答及び対応方針
道路事業 (名阪道路)	新名神高速道路が開通し、名阪国道の交通量はどのように変化したのか。	開通後の速報値ですが新名神は約24,000台。名神は雪の影響が少なく、東名は約14,000台増加。また、名阪国道は2,000台減少し、44,000台となっている。後、調査を継続していきたい。
	事故減少便益について、名阪国道の道路の算出方法が異なる通行止めであるが、事故走行時間短縮に考慮して算出しているのか。	事故減少便益は交差点救済や中央分離計路帯算出に連なったことで減少し、人命の確保はできない。人命の確保は人命の確保が前提である。
	【その他の意見】 ○日本の価値を重視したい。 ○走行速度の違い。車の速度差が大きい。車の速度差が大きい。車の速度差が大きい。	人命が軽くならなければいけない。車の速度差が大きい。車の速度差が大きい。車の速度差が大きい。

7. 報告事項

- (1) ダム事業等管理オロープアップ委員会対象事業について (報告)
 ○河川部より下記ダム事業について報告を受けた。
 ・豊川流況総合改善事業 (事後評価)
- (2) 徳山ダム建設事業について
 ○水資源機構中部支社より徳山ダム建設事業について、試験湛水状況及び平成20年度の対処方針について報告を受けた。

項目	意見・質問	回答及び対応方針
ダム事業 (豊川流況)	豊川用水の取水により宇運川が無水となることは豊川用水の計画時から想定されていたのではないか。	豊川用水は流域面積に比べ、取水時に雨が降るとは想定が異なる。宇運川は、農業用水の確保が重要である。豊川は、農業用水の確保が重要である。
	B/Cはどのようなようにして算定されたのか。	豊川の改修は、住民の負担を軽減するための事業である。B/Cは、豊川の改修に合わせた事業である。

※徳山ダム建設事業についての意見・質問は無し